

002 Prologue

## 特集 “さばき” が生む理想の剣道

006 道理を知って、さばきを使おう

白石輝志通 (栃木・教士八段)

022 理想像に近づくための間合と剣さばき

染谷恒治 (千葉・教士八段)

028 「剣」と「足」でさばく

上原祐二

(富士フィルムビジネスイノベーション・七段)

040 八段戦に見る  
体さばきから生まれた技

平尾泰 (東京) 栄花直輝 (北海道)

044 続・勝海舟の不戦

大橋弘 (栃木・書林館館長)

046 鈴木幾雄の教えをつなぐ

中心会 (東京)

052 アーカイブ 連続技と右足の攻めの極意

甲斐清治 (宮崎・範士八段)

058 体さばきの基本

072 特集エピローグ 道しるべ<sup>29</sup>

061 特別レポート・ヨーロッパ選手権大会  
3年ぶりに  
ヨーロッパの剣士が大集結



## 剣道日本

表紙撮影 窪田正仁 表紙デザイン トモヒコ  
デザイン-DTP/トモヒコ 沖田匡宏  
本誌掲載の記事、写真、イラストの無断転載を禁じます。

### 大会・イベント

084 関東実業団大会

090 関東女子学生選手権大会

098 春の高段位・称号審査会合格者

### 強豪選手の必勝技「ツワモノ」に学べ!

073 ⑳ 安藤翔 (国士舘大学教員)

092 剣道とコンディショニング

④ 熱中症予防と対処方法(前編)

094 各種イベント情報

全米女子セミナー、洗心道場新人戦大会、パナソニックEWとの交流稽古(静岡)、東海学生選手権、関東大会予選(茨城、千葉)

102 読者投稿ページ 剣客万来

### コラム 馬場欽司

104 敗者はいない

173 柔道の熱と剣道の課題

### 剣道女子

105 ④④ 江口琉花 (関東学院大学)

### 名手が選んだ剣道具

110 ③① 黒川雄大 (筑波大学4年)

082 復刻版のご案内

114 編集後記・次号予告

※前号の予定と内容が変更している箇所があります。  
「海外実力派剣士登場」は休載させていただきます。

# 第63回関東実業団剣道大会 日本武道館で初の“連覇”

令和4年6月5日(日)日本武道館 主催◆関東実業団剣道連盟

取材◆岡井博史 撮影◆編集部

コロナ禍の実業団大会は中止の1年を経て、ついに昨年から再スタート。  
今回は従来使用されてきた日本武道館での開催となり、観客の入場も許された。  
全盛期にこそ及ばないながらも一般の部、女子の部ともに数多くのチームがエントリー。  
聖地・日本武道館での実業団大会は、一般の部、女子の部ともに連覇が達成された

## 一般の部

# 勢い止まらぬ NTT(本社)

チーム	順	先	次	中	副	大	得点
NTT (本社)	〃	河	齊	山	丸	兵	1
		奇	藤	田	山	藤	2
富士フイルム ビジネスイノベーション (本社)	〃	黒	米	岩	藤	梅	1
		木	満	川	田	ヶ	0

## 決勝

【中堅】山田(NTT・本社) 〇— 岩川(富士フイルムビジネスイノベーション・本社)

先鋒、次鋒と一本は発生せず中堅戦を迎えた。ときに柔らかくときに鋭い、緩急のついた竹刀さばきを見せる山田が、一瞬メンを見せるような動きからコテに転じるとこれが決まる(写真)



### 優勝◆NTT(本社)

兵藤裕則(30歳)、丸山大輔(25歳)、山田将也(25歳)、齊藤将吾(32歳)、河奇遼(23歳)、早川威(28歳)。

監督=三代大輔(46歳) ※記念写真撮影のためマスクを外しています



### 最優秀選手◆山田将也(NTT・本社)

「周りからは全日本選手権大会3位入賞者という目で見られるので、いかにその肩書を意識せずに臨めるかというのが課題でした。決勝戦では試合をするなかで少し相手の手元が受くのを感じた場面があったので、同じ入りを意識して攻めてコテを打ちました」

※記念写真撮影のためマスクを外しています





## 準々決勝

東和アークス(本社)1(3)代一(3)ALSOK(東京)

【代表】海寶 コー 藤江

ALSOKは大将藤江の二本勝ちで代表戦へと持ち込むことに成功。代表戦で藤江に対するのは次鋒戦を二本勝ちで飾っている海寶。追いつかれた立場の海寶だったが切れ味鋭いコテ(写真)で勝利



## 準決勝

富士フィルムビジネスイノベーション(本社)2(6)—0(2)三井住友海上(本店)

【大将】梅ヶ谷 ㊦— 本間

副将藤田の二本勝ちを受けた梅ヶ谷。中央大学の後輩にあたる本間の猛攻にも堂々と対峙する。ここでは梅ヶ谷がコテ(写真)、そしてメンを決めて貫禄を示した



## 準々決勝

富士フィルムビジネスイノベーション(本社)4(6)—0(0)東芝テック(東京支社)

【中堅】藤田 ㊦— 村川

東芝テックは中堅の宮田が足を負傷して棄権。これで苦しい2連敗となった。なんとか挽回したい村川に対して開始ほどなくコテを奪った藤田(写真)。その後も冷静にコテを追加し藤田が勝利



## 準決勝

NTT(本社)3(5)—1(2)東和アークス(本社)

【先鋒】丸山 ㊦— 吉村

先鋒戦こそ引き分けに終わるも次鋒戦からはNTTが実力発揮。次鋒、中堅と連勝を飾る。勝負どころの副将戦でも丸山が奮闘。メンと諸手ツキ(写真)を奪って勝負を決めた

新型コロナウイルス感染拡大によって2020年の開催は中止となったこの関東実業団大会。2021年はわずか64チームの参加数ながらも大会は復活。とはいえ当時は東京オリンピックで使用される都合によって武の殿堂・日本武道館での開催は叶わなかった。

そして今年、ついに日本武道館に実業団大会が帰ってきた。エントリーチーム数は183チームと大幅に増え、さらに会場には観客も入場できるなど新たな兆しが見えた大会を制したのはNTT(本社)だった。

言わずと知れた実業団の強豪チームは前回大会覇者でもある。2021年6月に関東大会を制したNTT(本社)は9月の全日本大会では惜しくも3位にとどまるも、同年11月には再び大きな吉報に恵まれる。同社所属の山田将也が愛知県代表として全日本選手権大会に出場、実業団剣士ながらも3位入賞を遂げる快挙を達成したのだ。

その山田は今大会でももちろん主力の中堅として起用され大活躍。決勝戦でも連勝を決める一打を放った。NTT勢としてはこれが初の連覇達成。苦しいコロナ禍であっても、その勢いはさらに加速している。





**5回戦**

東和アークス(本社)2(4)—1(1)ランテック(神奈川)

【大将】 柴花 ⊗反— 藤田

同点ながら取得本数差で一本上回っている東和アークス。大将柴花は開始早々見事な出ばなメンを決め(左が柴花)、ランテックを追い詰める。追いつきたい藤田であったが、その後二度の場外反則。勝負ありとなった



**5回戦**

富士フィルムビジネスイノベーション(本社)3(4)—0(1)アールエフテクニカ(本社)

【副将】 藤田 ⊖— 下湯

過去この大会で2位の戦績を残すアールエフテクニカ。先鋒戦を富士フィルムビジネスイノベーションに奪われ、その後は引き分けが続いた。副将戦、上段・下湯の手元に打ち込まれたのは藤田のコテだった(写真は攻防)

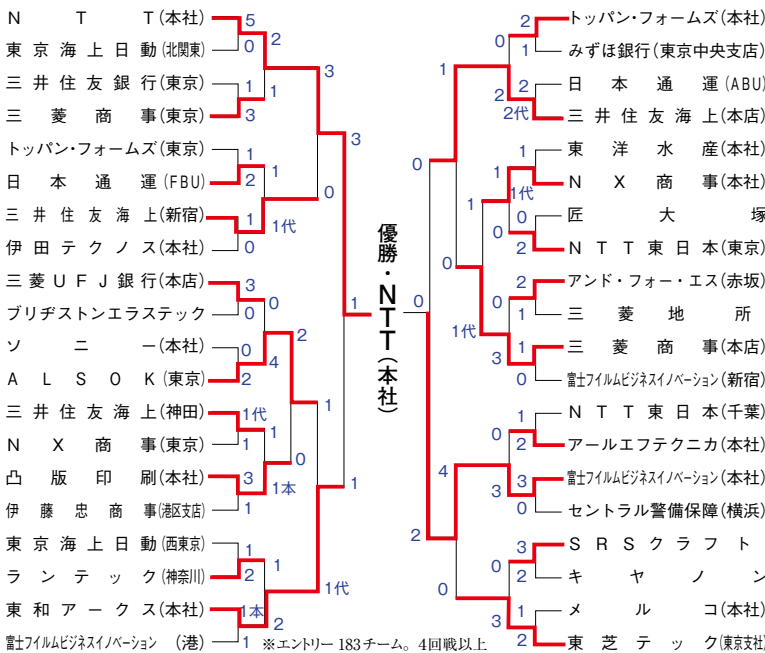


**5回戦**

東芝テック(東京支社)3(4)—0(1)SRSクラブ

【次鋒】 五十嵐 ⊕— 黒澤(斗)

先鋒戦は東芝テックが一本先制するもSRSクラブもすぐさま一本返して引き分けに。次鋒戦、時間終了間際に決まったのは五十嵐のドウだった(写真)。東芝テックはその後の中堅、そして大将戦を奪って勝利



**準々決勝**

三井住友海上(本店)1(3)—0(2)三菱商事(本店)

【大将】 本間 ⊗— 勇

名門三井住友海上と強豪若手選手が揃う三菱商事の対戦は大將戦へ。本間と勇の好取り組みは勇のコテを受けざまメンににさばいた本間に軍配(写真は攻防)



**準々決勝**

NTT(本社)1(3)—0(2)三井住友海上(新宿)

【副将】 丸山 ⊗— 山田

先鋒戦をNTTが奪うとその後の次鋒、中堅は引き分けに終わる。副将戦、パワフルな両選手の戦いは、山田がコテを放った打突後のスキをメンにとらえた丸山の勝利(写真は攻防)



**2位◆富士フィルムビジネスイノベーション(本社)**  
梅ヶ谷翔(26歳)、藤田啓人(24歳)、岩川力(33歳)、米清広将(27歳)、黒木裕一郎(22歳)、新海幹之(37歳)  
監督 川崎誠洋(42歳)  
※記念写真撮影のためマスクを外しています

**3位◆東和アークス(本社)**  
柴花友彦(38歳)、吉村翔(33歳)、梅本翼(24歳)、吉谷信紀(29歳)、林博文(27歳)、海真太郎(24歳)、和太(24歳)、津村拓紀(28歳)、柴崎龍太郎(30歳)、山瀬聖大(30歳)  
監督 川波達也(48歳)  
※記念写真撮影のためマスクを外しています

**3位◆三井住友海上(本店)**  
本間渉(24歳)、佐藤大洋(26歳)、森大(24歳)、津村拓紀(28歳)、白山  
監督 川波達也(44歳)  
※記念写真撮影のためマスクを外しています





## 準決勝

ランテック(東京本社A)2(5)ー0(2)富士フイルムビジネスイノベーション(本社)

【中堅】寺田ドコー⑤ 兵等

リードを許している富士フイルムビジネスイノベーション。中堅の兵等が開始すぐにドウを奪うが寺田も負けじとドウで一本。その後鋭いコテを追加した寺田(写真左が寺田)。これでチームの勝利を決めた



## 準決勝

伊田テクノス(本社)1(1)代ー1(1)NTT東日本(東京)

【代表】志藤 コー 沖田

NTTは中堅の沖田が、伊田テクノスは大将の志藤が勝って代表戦に。ポイントを奪った選手同士で争われた代表戦は、経験値に勝る志藤が冷静にコテを奪った(写真)

## 女子の部

# 大将志藤が決めた!

(伊田テクノス・本社)



チーム	順	先	中	大	得点	代
伊田テクノス(本社)		北	小	志	1	志
				藤		1
ランテック(東京本社A)		下	寺	日	1	下
			川	田	高	

## 決勝

【代表】志藤(伊田テクノス・本社)コー 下川(ランテック・東京本社A)

大将志藤と先鋒下川が戦う代表戦。志藤のメンに旗が一本上がる場面もあったが時間内には勝敗決せず延長戦へ。最後は志藤のコテが一本となった(写真)

前回大会では欠場が相次ぎ最終的な参加チーム数は27チームだった女子の部。しかし今大会では実に68ものチームがエントリー、女子のメイン会場として使用された日本武道館の第1・第2試合場では熱い戦いが展開された。

大会を制したのは伊田テクノス(本社)だった。一般の部優勝のNTTと同じく、すでに強豪チームとして名高いながらもこれが初の大会連覇となった。

初の連覇に加え、大黒柱の大将志藤綾子が2023年開催の全日本女子選手権大会で2位入賞、直近の全日本大会では悔しい結果(4回戦敗退)に終わっていることなど、NTTとの不思議な共通点が目立った。

決勝戦、代表戦を制した志藤はすでに実績豊富な選手だが、「実は日本武道館で優勝するのは初めてのこと。やっとここで……という思いがありますね」と感無量の表情を見せた。

## 最優秀選手

### ◆志藤綾子(伊田テクノス・本社)

「3月の全日本大会では4回戦で負けてしまったので、今回は体調管理も含めてしっかりと稽古を積んできました。大将も務めさせていただいていますし、代表戦となれば「まだ」私が出るだろう、と。代表戦では一度自分でも手応えを感じたメンがあり、その技があったからこそ最後のコテだったと思います」

※記念写真撮影のためマスクを外しています



## 優勝◆伊田テクノス(本社)

志藤綾子(29歳)、小川梨々香(23歳)、北條李華(22歳)、松本実姫(27歳)。監督=矢野圭介(44歳)

※記念写真撮影のためマスクを外しています



# 第63回関東実業団剣道大会



## 準々決勝

ランテック(東京本社A)0(2)代—0(2)NTT(本社)

【代表】寺田 梅ー 松原

先鋒、中堅と両チーム一本ずつ取り合う展開で2試合連続の引き分け。大将戦もまた有効打突はなく引き分けとなり、代表戦で勝敗決することに。中堅寺田と大将松原の代表戦は開始すぐに寺田のメンが決まる(写真)



## 準々決勝

伊田テクノス(本社)2(4)—1(2)NTT東日本(本社)

【中堅】小川 ㊟メーメ 坂口

先鋒戦をNTTに奪われた伊田テクノスだったが、中堅小川が勢いよくメンで先制(写真)。対する坂口もメンで返す奮闘を覗せたが、小川がメンを追加して決着。伊田テクノスは大将戦も勝利した



## 準々決勝

NTT東日本(東京)1(1)—0(0)東芝テック(本社)

【大将】長谷川 ㊟ー 鈴木

先鋒、中堅が引き分けに終わる緊迫した展開に。大将戦では長谷川が鈴木の手元の動きを読んでドウに切り込み一本(写真)。



## 準々決勝

富士フィルムビジネスイノベーション(本社)1(2)—0(0)NX商事(本社)

【大将】榎本 ㊟コー 黒木

先鋒、中堅が引き分けで迎えた大将戦。試合開始からほどなく黒木がしかけたコテを見切ってメンを打ち込んだ榎本(写真)。その後も黒木の技の尽きたところを中心に攻撃をしかけ、最後はメンの打ち終わりをひきゴテにとらえた



## 2位◆ランテック(東京本社)

日高楓花(23歳)、寺田樺花(25歳)、下川真優(23歳)、黒澤美穂(37歳)。監督=原弘規(57歳)

※記念写真撮影のためマスクを外しています

伊田テクノス(本社)	1	0	上池自動車学校	0
サントリーHD(東京)	0	1	ランテック(東京本社A)	3
伊藤忠商事(本店)	3	0	2	パナソニック(EW関東)
南関東日野自動車	0	2	0	N I P P O
セントラル警備保障(本社)	1	0	0	A L S O K(東京)
NTT東日本(本社)	1	0	1	J R 東日本クロスステーション(本社)
パナソニック(EW 東京本社)	0	0	1	2
ランテック(神奈川)	2	0	0	0
東洋水産(本社)	0	0	2	0
三菱商事(本店)	1	0	0	2
東芝テック(本社)	1	0	0	0
三井住友海上(本店)	0	0	1	2
東京海上日動(本店)	1	0	0	1
C o m i n g	0	0	0	2
日本IBM(本社)	0	1	0	0
NTT東日本(東京)	1	0	0	0

優勝・伊田テクノス(本社)

※エントリー68チーム。3回戦以上

3位◆NTT東日本(東京)  
長谷川理恵(24歳)、油田瑞希(25歳)、榎本響香(25歳)、尾名高由佳子(27歳)。監督=中島裕敏(53歳)  
※記念写真撮影のためマスクを外しています



3位◆富士フィルムビジネスイノベーション(本社)  
榎本琴音(22歳)、兵等日菜(24歳)、上内侍麻菜(28歳)、奥村美里(37歳)。監督=奥村美里(37歳)  
※記念写真撮影のためマスクを外しています

